

会社説明資料

第2
創業期

株式会社アルプス技研 2020年12月期 第2四半期

－東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641－

開発・設計の高度技術者集団

■ 当社グループのコロナウイルス感染症対策について

当社グループは新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、対策本部を設置し、オフピーク通勤や会議自粛（TV会議の活用）など、お客様、従業員の安全に配慮した対策を講じております。

1. お客様のご要請に応じた感染症対策

- 1) お客様先の状況に応じた柔軟な対応
- 2) 営業現場でのTV会議の活用
- 3) 社員の感染が疑われる場合の迅速な対応（本人への状況確認や出勤停止等）

2. 当社グループの感染症対策

- 1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・うがい、消毒液の利用の徹底
- 2) 自社ビル内のフロア往来自粛、食堂利用の原則禁止
- 3) オフィス内に飛沫防止用アクリルボード、ビニールシート等を設置

3. 勤務形態・業務の変更

- 1) 社員の在宅勤務、休暇取得の推進、（必要時）オフピーク通勤の継続
- 2) イベント、懇親会、国内出張の自粛、海外出張の原則禁止
- 3) 社内外の会議等の自粛、TV会議の活用、入社式の延期、オンライン研修の実施

4. 体調不良時の対応

- 1) 本人が発熱した場合の出勤禁止
- 2) 同居家族が発熱した場合の出勤自粛

※2020年7月31日時点

～目 次～

- | | | |
|----------|-------------------------------|---------------|
| ① | 2020年2Q 決算概況 | …P.4～ |
| ② | 新規グループ会社、
関連会社のご紹介 | …P.12～ |
| ③ | 2020年度 施策 | …P.14～ |
| ④ | 2020年度 業績・配当予想 | …P.19～ |
| ⑤ | 新中期経営計画 | …P.21～ |
| ⑥ | サステナビリティ ・ ESG | …P.24～ |

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が継続
- ・コロナ禍でも主要企業は研究開発投資を維持

製造業界

輸出動向

急速に減少
※感染症拡大で
足元は不透明

業界動向

R&D投資は維持
半導体…5G需要拡大
車…次世代車向け

人材業界

派遣要請

需要は堅調
※一部休業等発生、
在宅勤務で業務対応

人材獲得競争

オンライン等の新たな採用
手法の推進/メーカー採用
長期化で競争激化

■ 2020年第2四半期 決算概況

- ・連結/販管費抑制、雇調金収入
- ・個別/人数・単価UPで堅調な伸び

(単位:百万円)

【連結】	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率
売上高	16,589	17,483	5.4%
営業利益	1,644	1,785	8.6%
経常利益	1,692	2,139	26.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,206	1,426	18.3%

【個別】	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率
売上高	14,314	14,896	4.1%
営業利益	1,549	1,663	7.3%
経常利益	1,679	2,036	21.2%
四半期純利益	1,235	1,418	14.8%

- ・営業利益率は10.21%で着地
- ・コロナ影響で販管費△9%

(単位：百万円)

【連結】	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率
売上高	16,589	17,483	5.4%
売上原価	12,291	13,274	8.0%
売上総利益	4,297	4,209	-2.1%
販管費	2,653	2,423	-8.7%
○売上高販管費率	15.99%	13.86%	-2.13%
営業利益	1,644	1,785	8.6%
○売上高営業利益率	9.91%	10.21%	0.30%
営業外収益	72	390	441.6%
営業外費用	23	36	51.8%
経常利益	1,692	2,139	26.4%
特別利益	100	100	0.1%
特別損失	1	79	4853.1%
税引前四半期純利益	1,790	2,160	20.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,206	1,426	18.3%
○売上高四半期純利益率	7.27%	8.16%	0.89%

主な売上・利益増加要因

- ① 高稼働率の維持
- ② 単価の上昇
(契約単価・実単価共に)
- ③ 稼働人数の増加
- ④ 社員数の増加
- ⑤ 販管費の抑制
(集合型研修、旅費削減等)
- ⑥ コロナに伴う雇用調整
助成金収入 (営業外収益)

主なコスト増加要因

<持続性：個別>

- ① 原価増
⇒技術者数増加のため

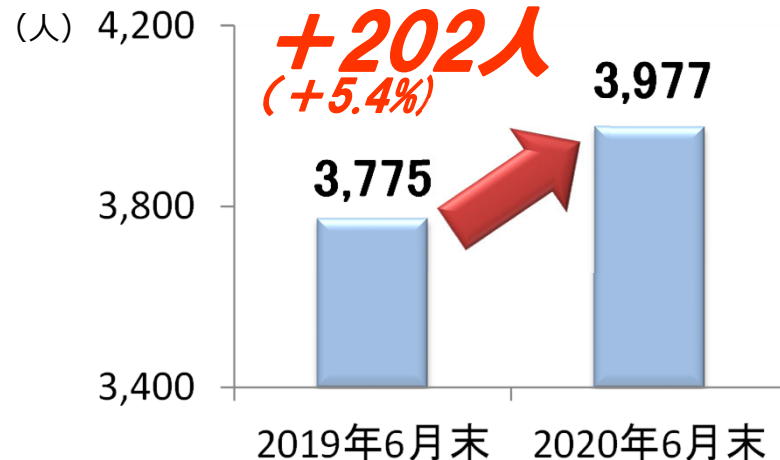
<一過性：個別>

- ② 投資有価証券評価損発生
⇒感染症拡大による株価
下落のため

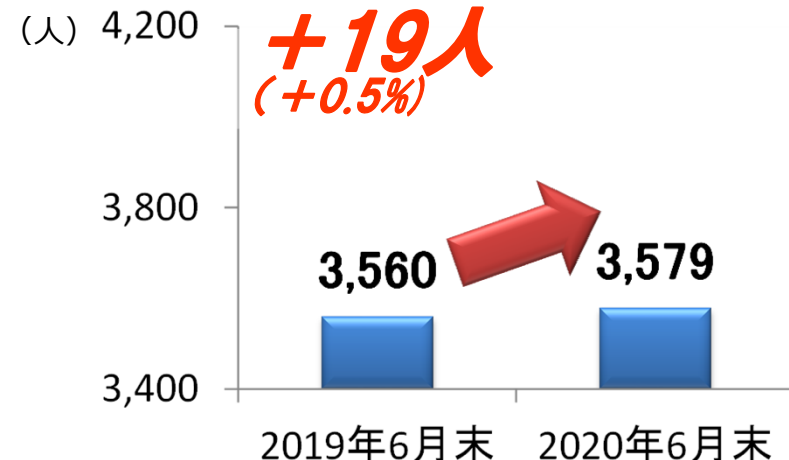
コロナ影響による休業増、残業抑制で稼働工数は減少

※売上を構成するのは残業代を含む「実単価」。注記参照

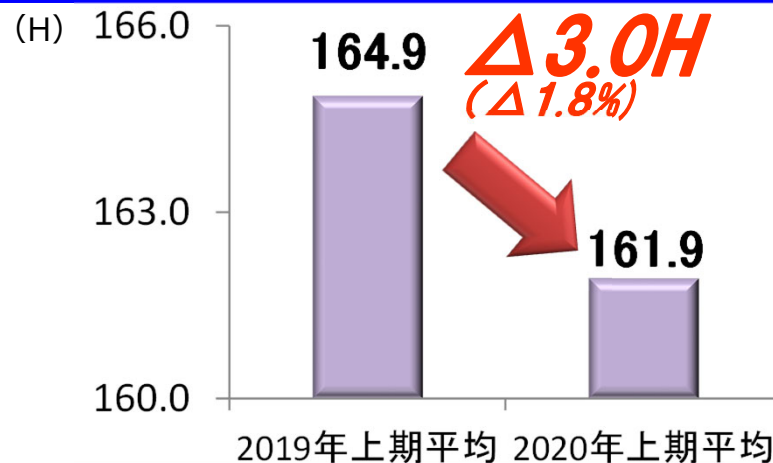
技術社員数 ※2020年6月末時点



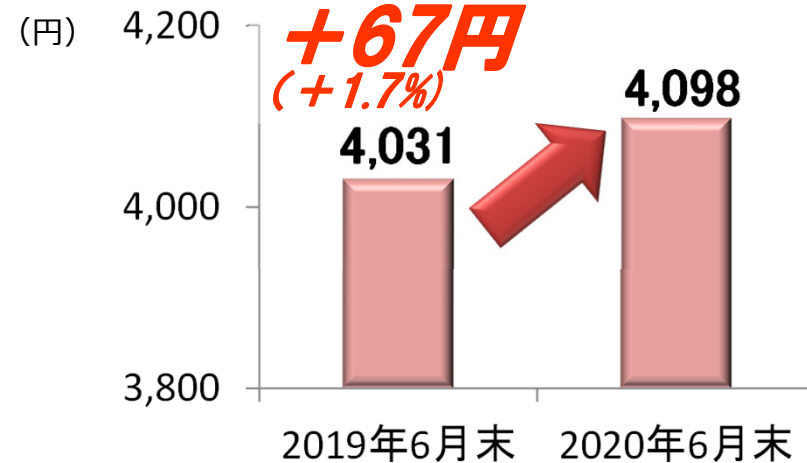
稼働人数 ※2020年6月末時点



稼働工数 ※2020年度 2Q平均(1-6月)



契約単価 ※2020年6月末時点 ※実単価とは異なる。



※契約単価・・・顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」と異なり、残業代を含まない。

※稼働工数・・・技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

■ 稼働工数動向と営業について

外部環境の変化

- ・働き方改革で残業△、法律で残業時間や有休取得日数の要件が厳格化
- ・残業規制が優良派遣事業者認定の要件に追加

特殊要因(※)

- ・感染防止の影響で工数減
⇒ 2Q以降発生（休業・残業抑制）



当社の対応

今後の予想

- ・特殊要因(※)を除いた場合、工数減少は年々緩やかに
- ・所定労働時間(月約160時間)を下回ることは考えにくい

1. 営業戦略のシフト

一人当たりの工数△を人数増+単価UPでカバー

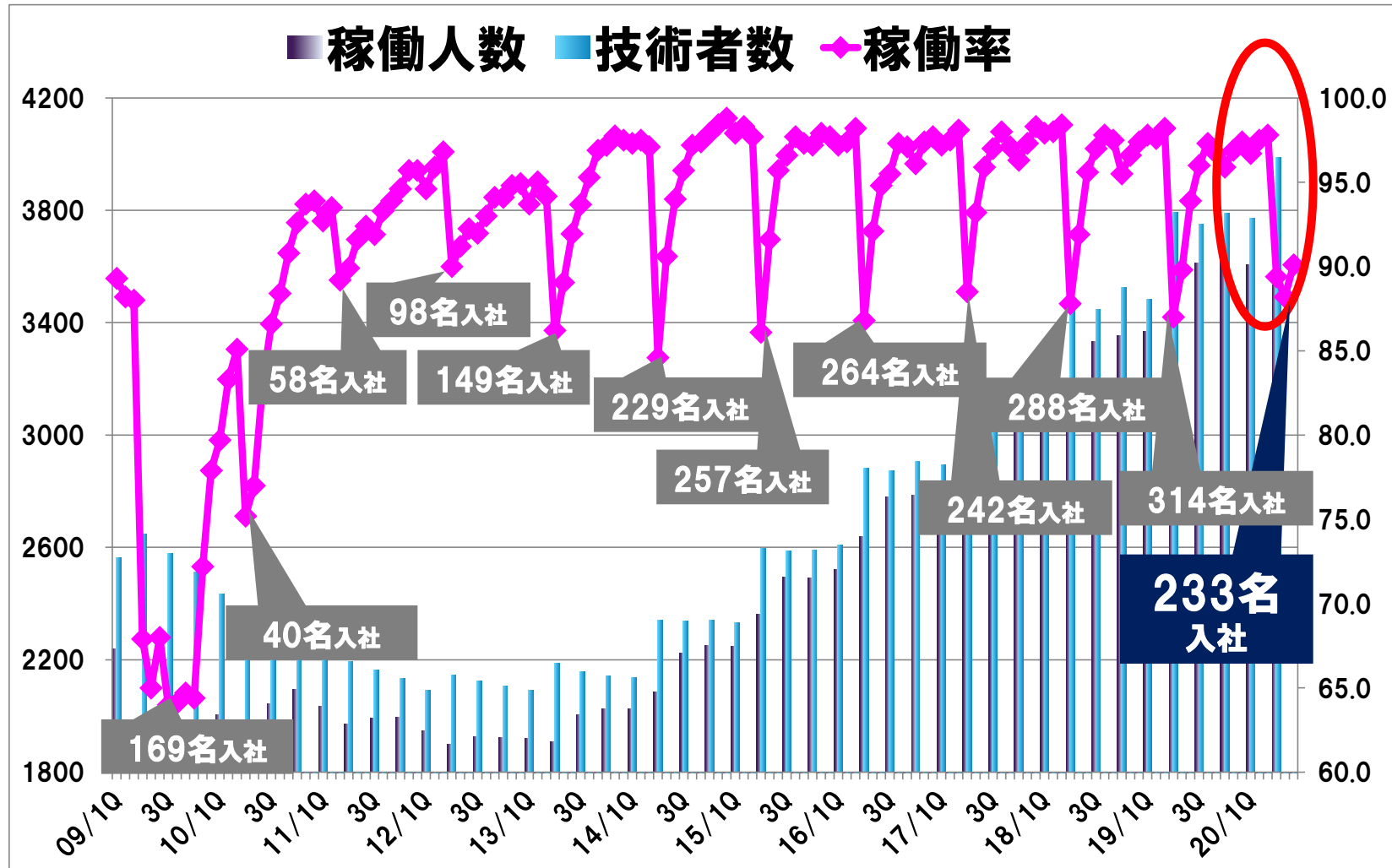


2. 顧客毎の工数分析で繁閑を見極め、成長分野・領域の技術力を向上し案件獲得

- ・人材の質をさらに重視した採用を実施
- ・稼働率は一時下振れるも徐々に回復傾向

(単位:人)

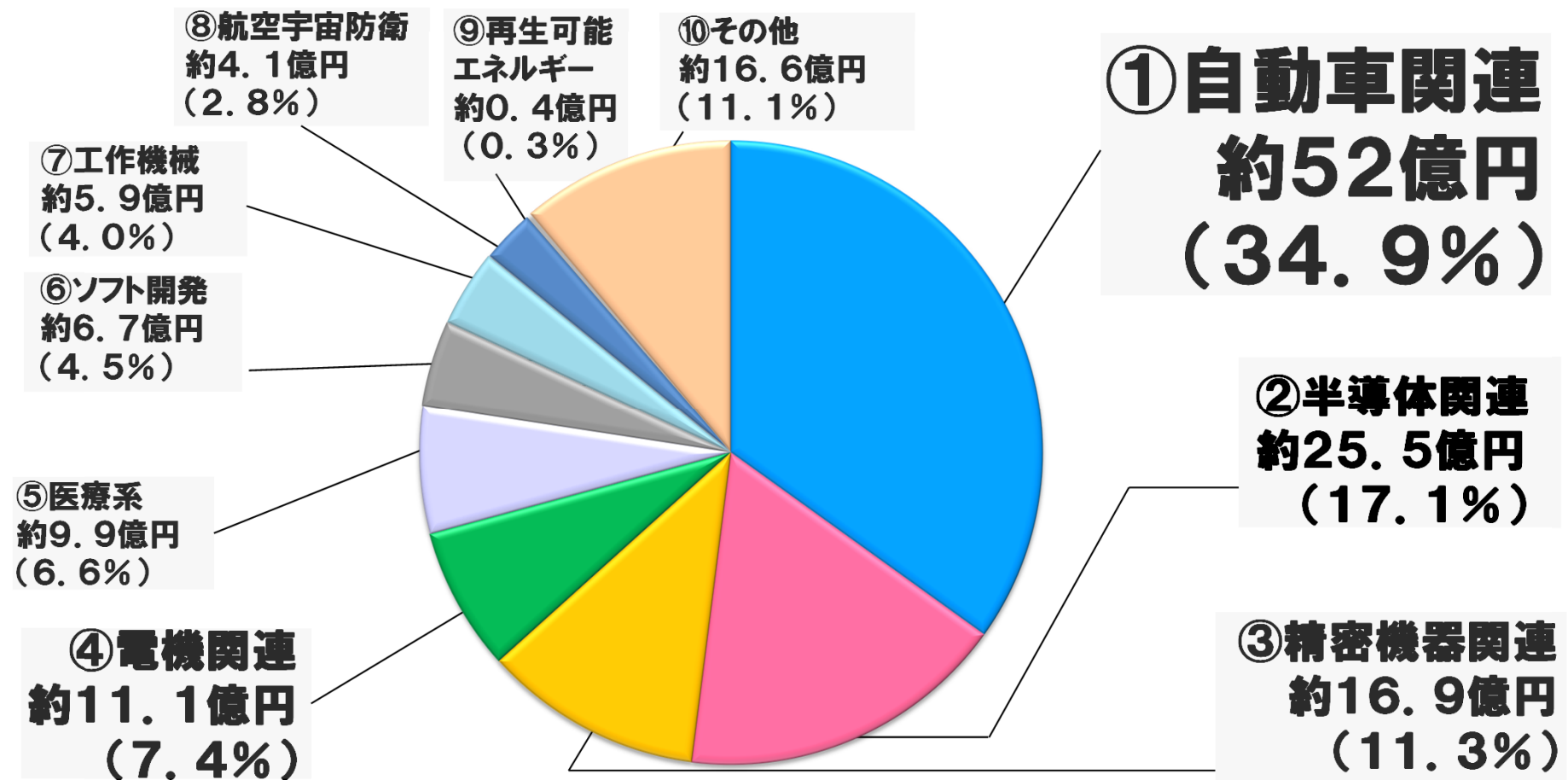
(単位:%)



※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数(人) ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数(人) ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率(%)
 グラフ内入社者数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社のグローバルエンジニアは含まない)

- ・コロナ禍で半導体/医療系/ソフト開発が増加
- ・自動車はシェア・金額共に減少⇒好調分野にシフト

業種別売上高(2020年第2四半期)※個別・上位順



※上記グラフは最終製品に紐付く分類。【例】技術分野:電機、最終製品:EVの場合⇒「①自動車関連」に分類

5G需要増加により半導体関連ニーズが堅調

売上上位10社

2018年度 通期	2019年度 通期	2020年度 第2四半期
三菱電機	三菱電機	東京エレクトロニクス
東芝メモリ	キオクシア(旧東芝メモリ)	三菱電機
東京エレクトロニクス	東京エレクトロニクス	キオクシア(旧東芝メモリ)
アイシン・エイ・ダブリュ	アイシン・エイ・ダブリュ	ソニーセミコンダクタ
ソニーセミコンダクタ	日立オートモティブシステムズ	東京エレクトロン宮城
キヤノン	ソニーセミコンダクタ	ソニーLSIデザイン
東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城	デンソーテン
オートリブ	キヤノン	ニコン
日野自動車	本田技術研究所	日野自動車
日立オートモティブシステムズ	デンソーテン	三菱重工業
上位10社比率 20.0%	上位10社比率 19.6%	上位10社比率 18.8%



※東芝グループの表記・・・東芝メモリ様は2019年通期以降、「キオクシア」様と表示

新規グループ会社・関連会社のご紹介

(株)デジタル・スパイス (7/1付グループ会社)



株式会社 デジタル・スパイス

■会社概要

商号 株式会社デジタル・スパイス
所在地 長野県諏訪市
設立 2001年7月10日

■事業内容

- ・ソフトウェア開発、設計・製造
- ・技術者派遣

■開発実績

- ・スティックインサーター
(アイスクリーム用)

- ・半導体産業向け工場自動化ソフトウェア開発
- ・画像検査、処理システム
- ・宇宙小型探査機の開発等

(株)DONKEY (関連会社)



↑小型多機能型農業ロボット「DONKEY」

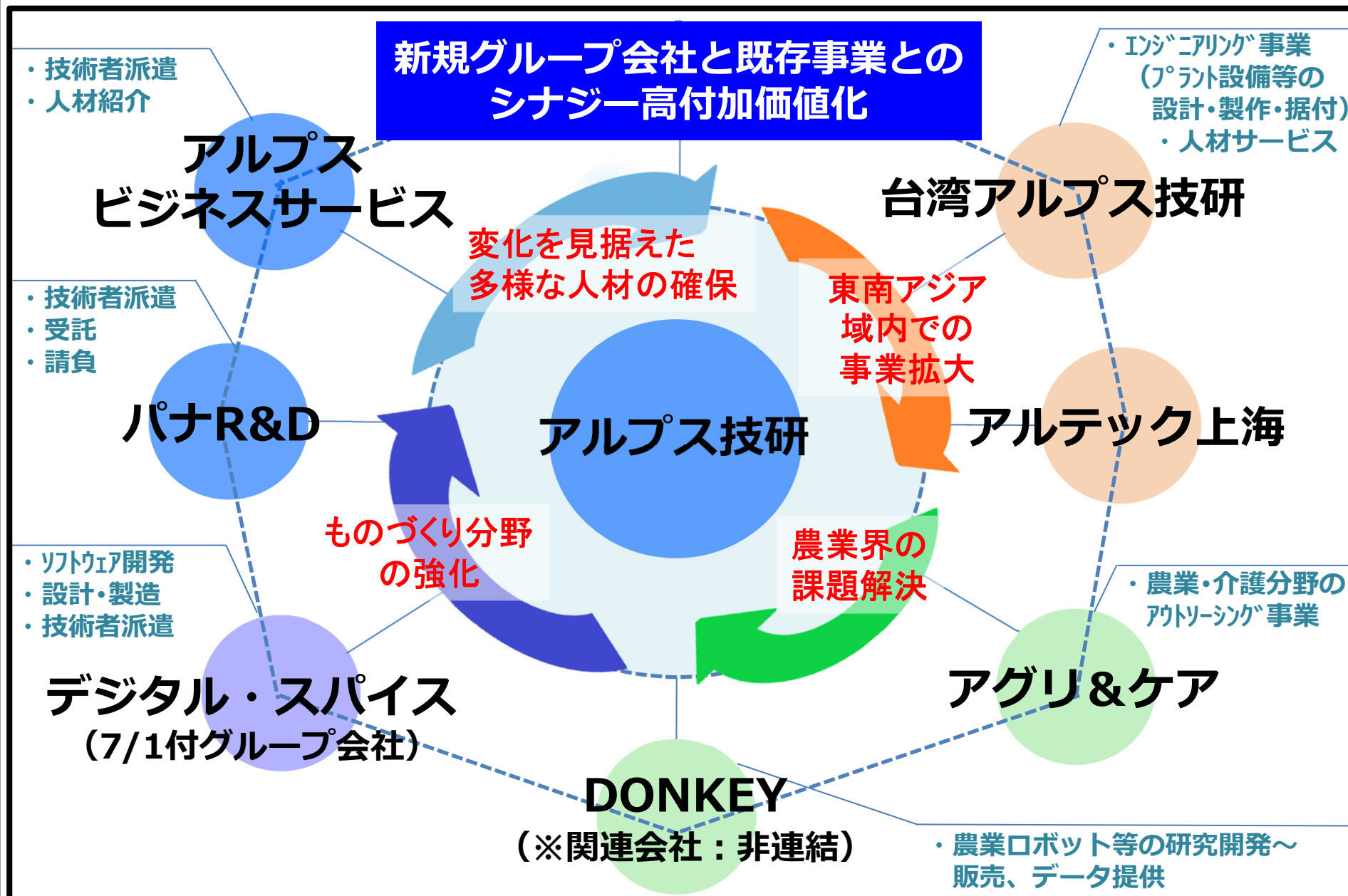
■会社概要

商号 株式会社DONKEY
所在地 神奈川県相模原市
設立 2020年3月19日

■事業内容

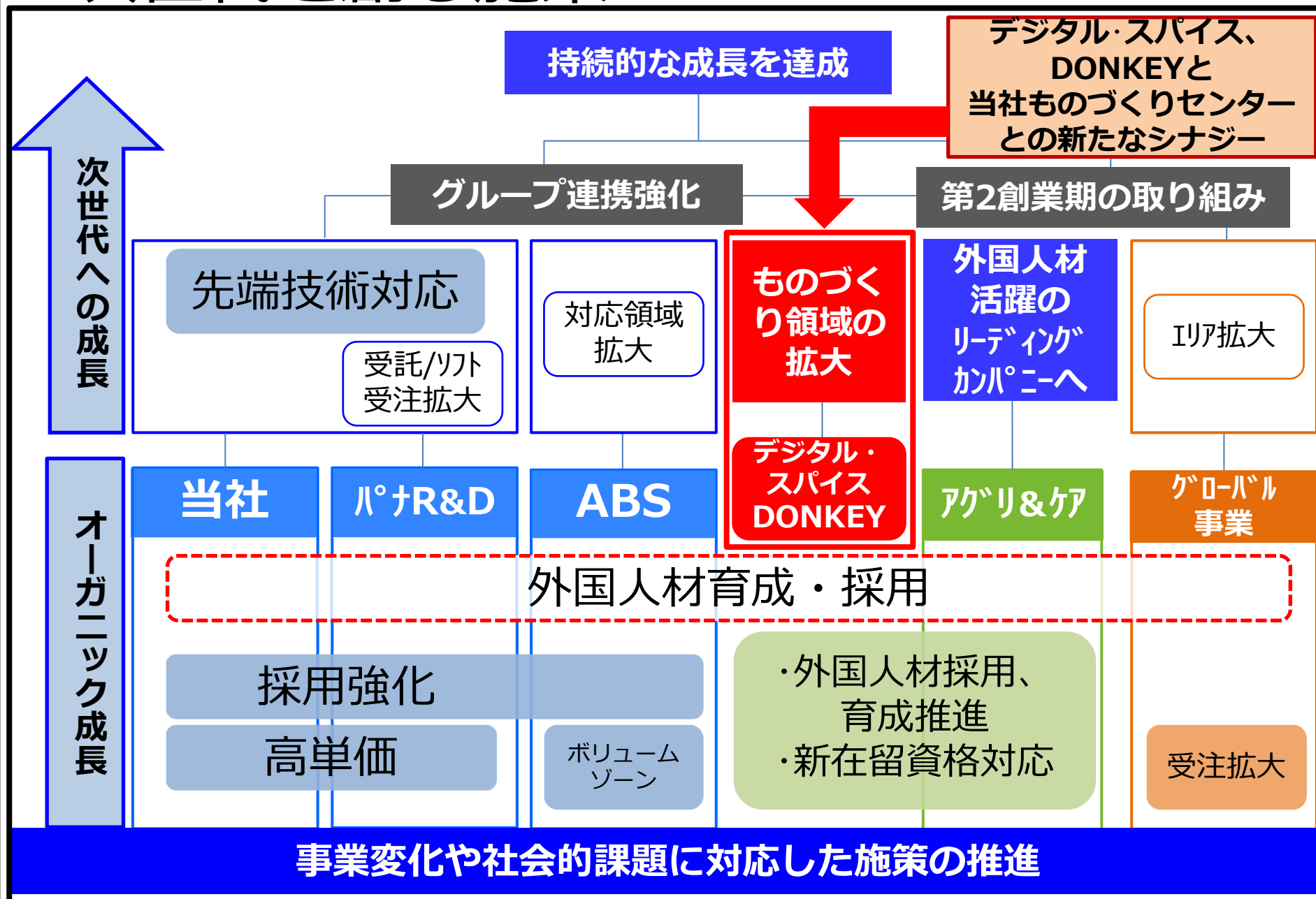
- ・自律多機能型ロボットの研究開発～販売
- ・データ活用サービスの提供

■ 新たなグループ体制 (くもの巣型ネットワーク組織)



※(株)DONKEY…5/27付で関連会社

■ 次世代を創る施策



■ 2020年 次世代を創る施策(個別)

成長を支える3本柱[採用・教育・営業]の好循環

1. 採用

- ①環境変化を捉えた早期採用の強化
- ②社員紹介強化・質重視のｽﾎｰﾄ"選考
- ③多様性に富んだ人材の確保

達成目標

- ・'21新卒280名採用
- ・'20ｷｬﾘｱ130名採用

2. 教育

- ①ミドル人材強化/育てる組織の構築
- ②先端技術・成長分野の高度人材育成
- ③グローバル人材の教育体制定着

- ・次代の人材育成、
拡大成長実現に
向けた組織の構築

3. 営業

- ①成長企業・分野との取引拡大
- ②新入社員の即戦力強化
- ③高付加価値化による高単価の実現

- ・成長分野拡大による
高単価の達成
- ・CSレベル向上

■ 2020年度 通期施策(グループ)

変化の先を予測し
スピード感あるグループ連携を一層強化

国内

ABS

人材サービス拡大・新規領域
がリユームゾーンの単価UP実現

パナR&D

高度技術を活かしCASE等
成長分野・受託・請負拡大

チ
ーム
ア
ル
プ
ス

海外

台湾・上海・ミャンマー

既存事業の領域拡大
グループ連携でアグリ事業推進

日本国内のグローバル人材受入

優秀人材獲得に向けた通年
採用強化/登録支援事業

アグリ&ケア

アグリテック/アグリ人材全国稼働
リーディングカンパニーの地位確立

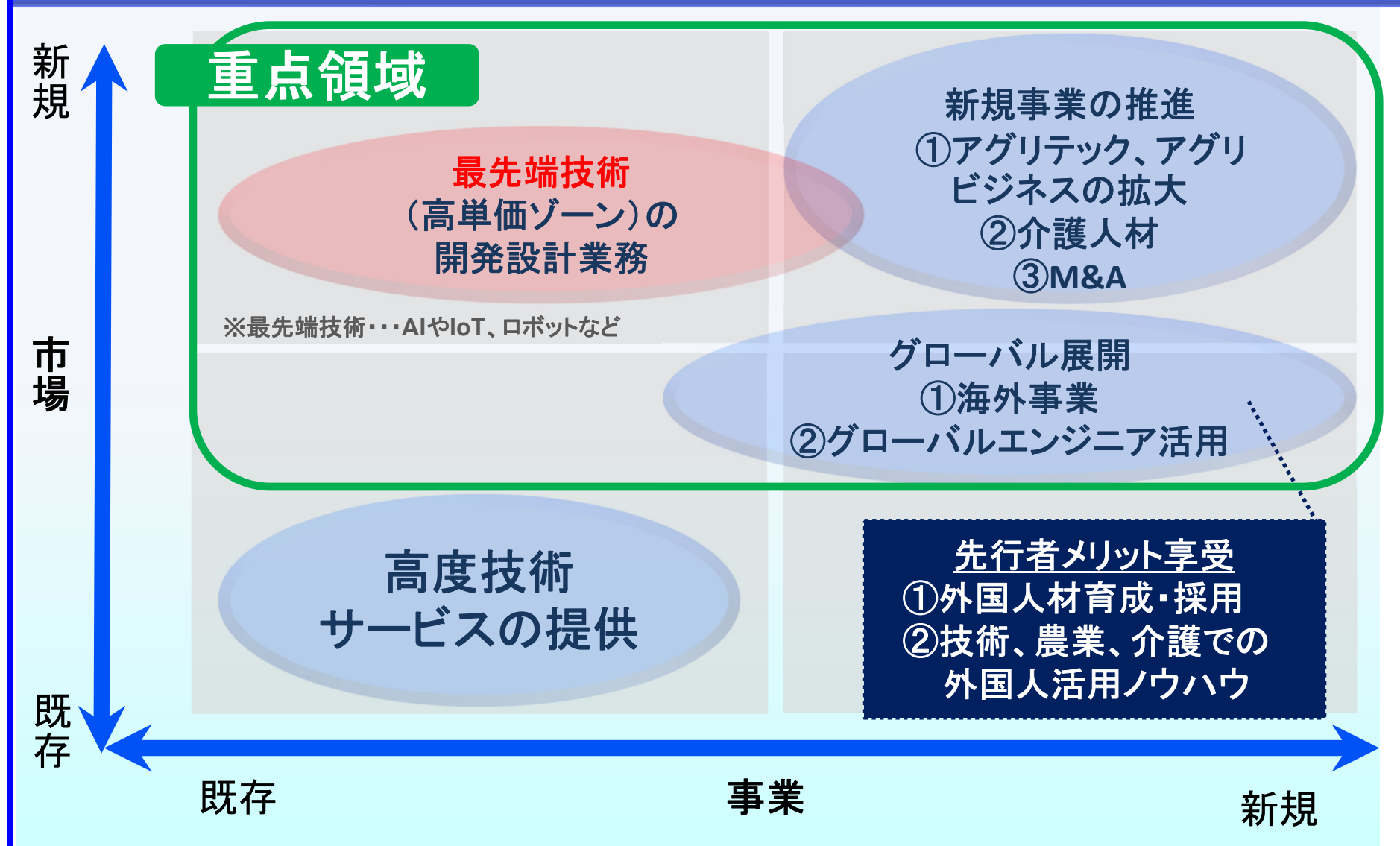
デジタル・スパイス (7/1付グループ会社)

IoT、AI、ロボット分野で
イノベーションを実現

※ABS…アルプスビジネスサービス

■ 中長期成長ビジョン

既存事業の強化・新規事業への挑戦



■ 全国で着実にアグリテック・アグリ人材派遣推進

コロナ禍で農業人材が不足し、ニーズがさらに増加

アグリ事業取引実績（抜粋）



●2019年9月 当社が人材派遣会社で全国初の「特定技能1号」取得
アグリテック・アグリに対応可能な外国人材を東南アジアから幅広く採用・育成

■業績予想

連結：最高業績更新へ

(単位：百万円)

【連結】	実績					業績予想	
	19年度通期	2020年度上期				2020年度通期	
	実績	期初予想 (20年2月)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	36,371	18,120	17,483	5.4%	-3.5%	38,320	5.4%
営業利益	4,014	1,780	1,785	8.6%	0.3%	4,270	6.4%
経常利益	4,098	1,790	2,139	26.4%	19.5%	4,270	4.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,908	1,210	1,426	18.3%	17.9%	2,910	0.1%

【個別】	実績					業績予想	
	19年度通期	2020年度上期				2020年度通期	
	実績	期初予想 (20年2月)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	29,684	15,300	14,896	4.1%	-2.6%	31,630	6.6%
営業利益	3,579	1,630	1,663	7.3%	2.0%	3,710	3.7%
経常利益	3,755	1,800	2,036	21.2%	13.1%	3,920	4.4%
四半期純利益	2,715	1,250	1,418	14.8%	13.4%	2,730	0.6%

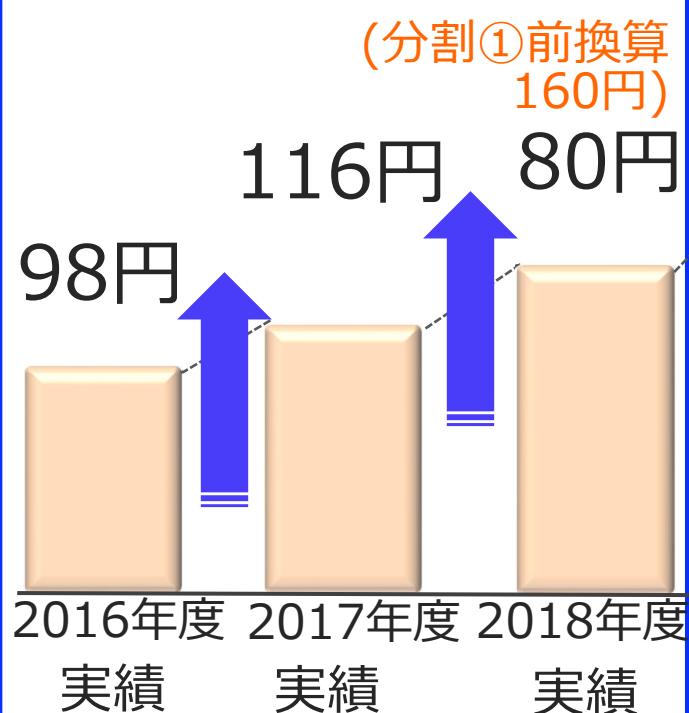
●利益予想： 先端技術や次世代車等、顧客ニーズは堅調のため、本業は底堅く推移する見込み。一方、景気の減速懸念を踏まえ、工数については抑制傾向で想定。

■ 配当予想 (2020年度年間配当金)

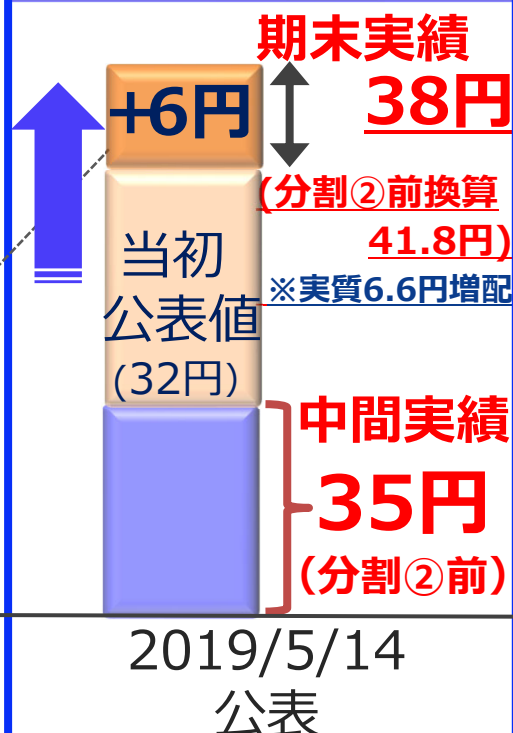
【配当の基本方針】

- ・ 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・ 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・ 業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)

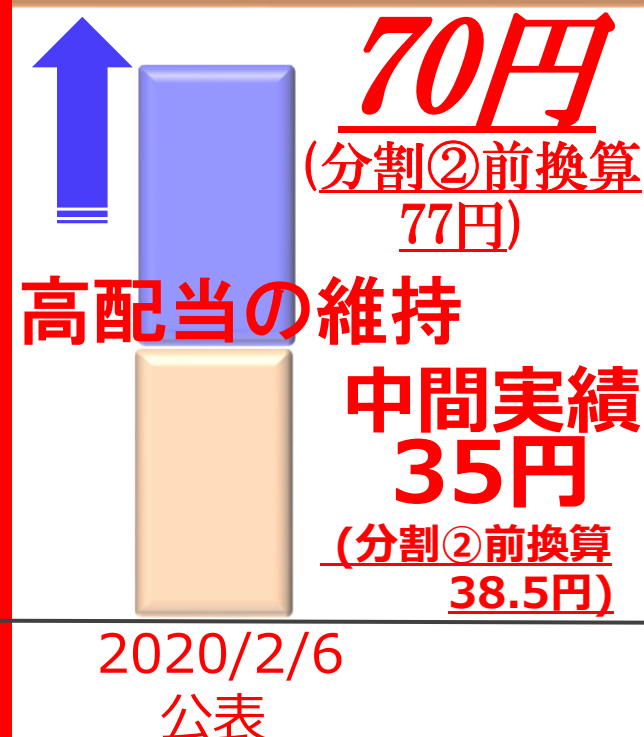
過去実績



2019年度実績



2020年度 予想



分割①・・・2018年1月1日を効力発生日として、1株を2株とする株式分割を実施

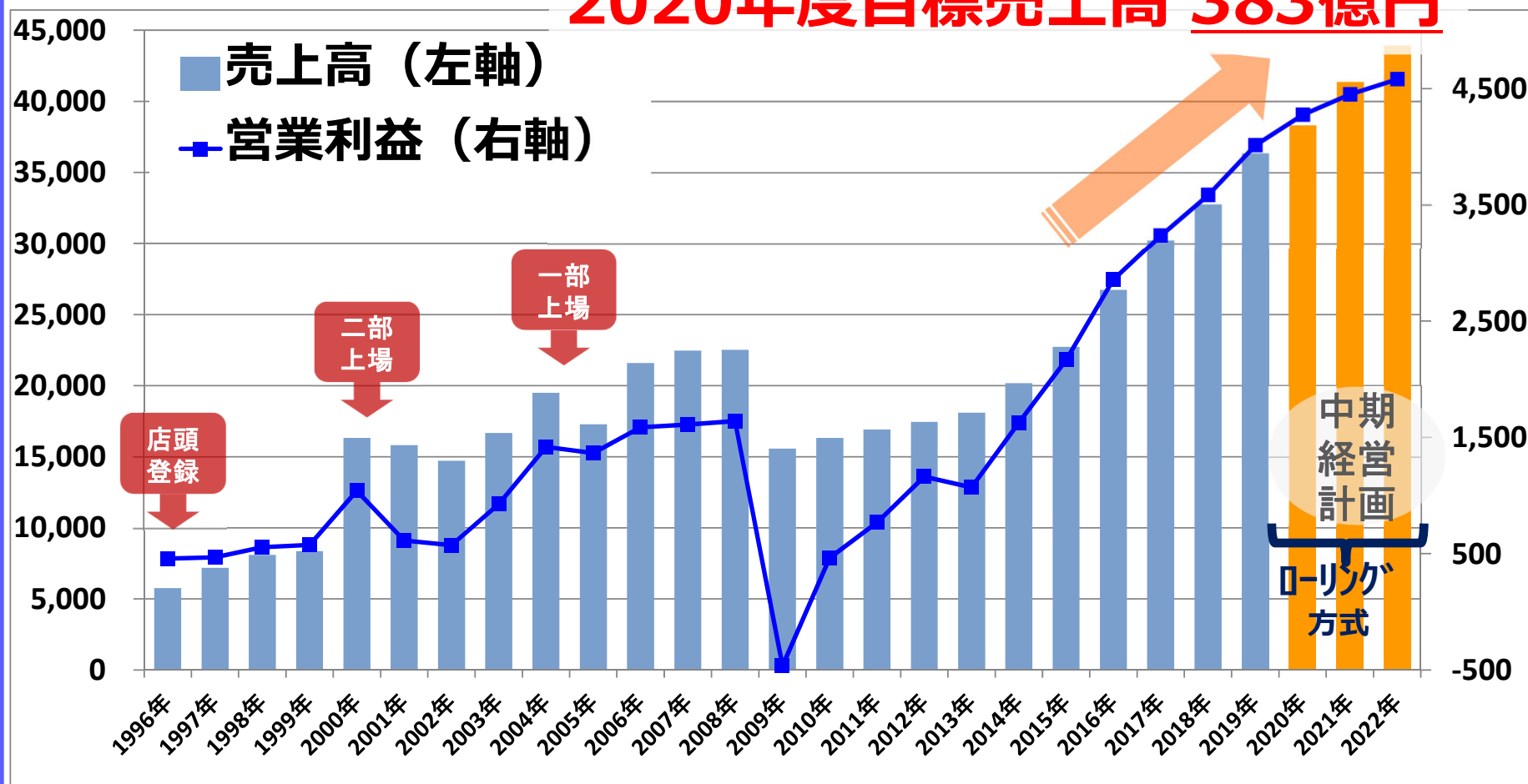
分割②・・・2019年7月1日を効力発生日として、1株を1.1株とする株式分割を実施

業績推移

増収・増益

第2創業期の礎作り着実に成長を達成

2020年度目標売上高 383億円



【備考】 ①1996年～1999年は個別業績 ②2000年以降は連結業績

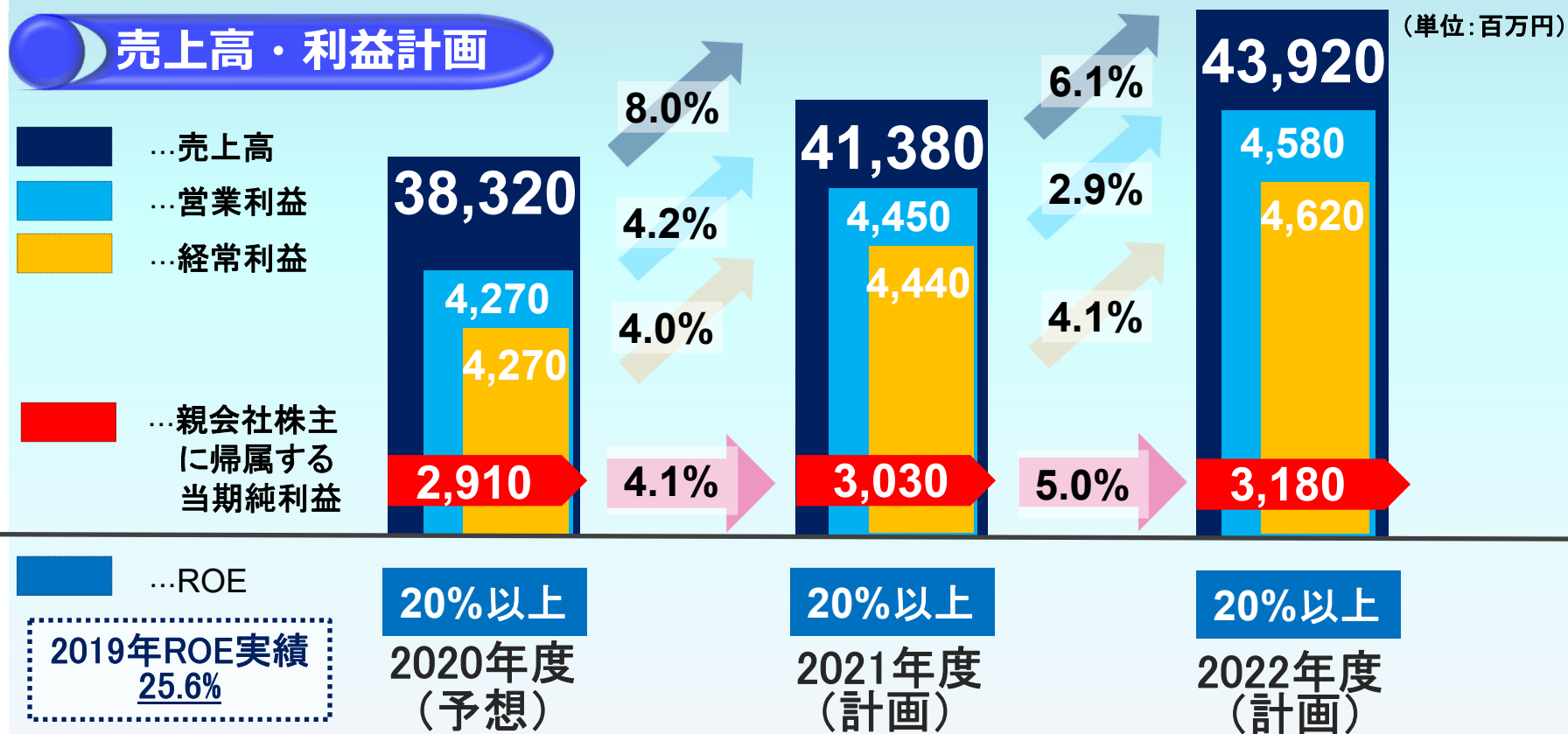
単位：百万円

■ 新中期経営計画（連結・定量目標）

第11次5カ年計画（2023年迄にありたい姿）

定性目標: 新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

3カ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション



※2018年4月設立の新会社「(株)アグリ&ケア」の業績を含む。

■ 中期経営計画（連結）

各施策と主な内容

1

**アウトソーシング
市場における
持続可能な競争
優位性の創出**

■ 内容

- ①ドメイン再構築による
売上拡大と収益力向上
- ②グループ連携による多様な
採用活動の拡大
- ③グローバル人材の雇用拡大
・育成強化
- ④他社と差別化された
企業ブランディング実行

2

**投資の拡大による
成長の加速と
収益基盤の強化**

■ 内容

- ①農業・介護分野における
新たな市場創出
- ②次世代技術を軸とした
資本・業務提携推進

3

**事業環境の変化
に対応した
人材育成と組織
の最適化**

■ 内容

- ①ITシステム投資にて
高水準の業務効率実現
- ②シニアや女性、障がい者
が活躍する環境整備
- ③技術と経営視点を持った
未来志向の人材育成

【備考】 定性目標は第11次5カ年計画に基づき内容更新

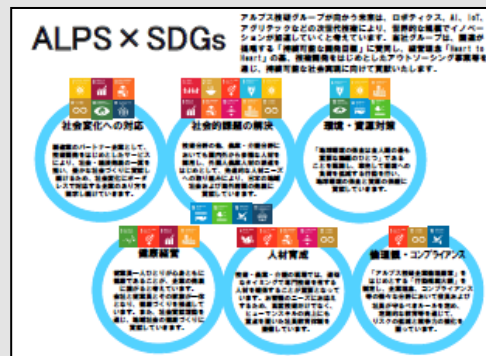
■ サステナビリティ・ESGの取組み

ALPS×SDGs



SDGs推進企業として
外務省HPに掲載

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/org1.html>



ダイバーシティ

大勢の外国人社員が
活き活きと活躍



外国人社員向け料理研修



グローバルスピーチコンテスト

バリアフリー

2020年バリアフリー月間に向け
バリアフリープロジェクトに協賛



東京都「心のバリアフリー」サポート企業に登録

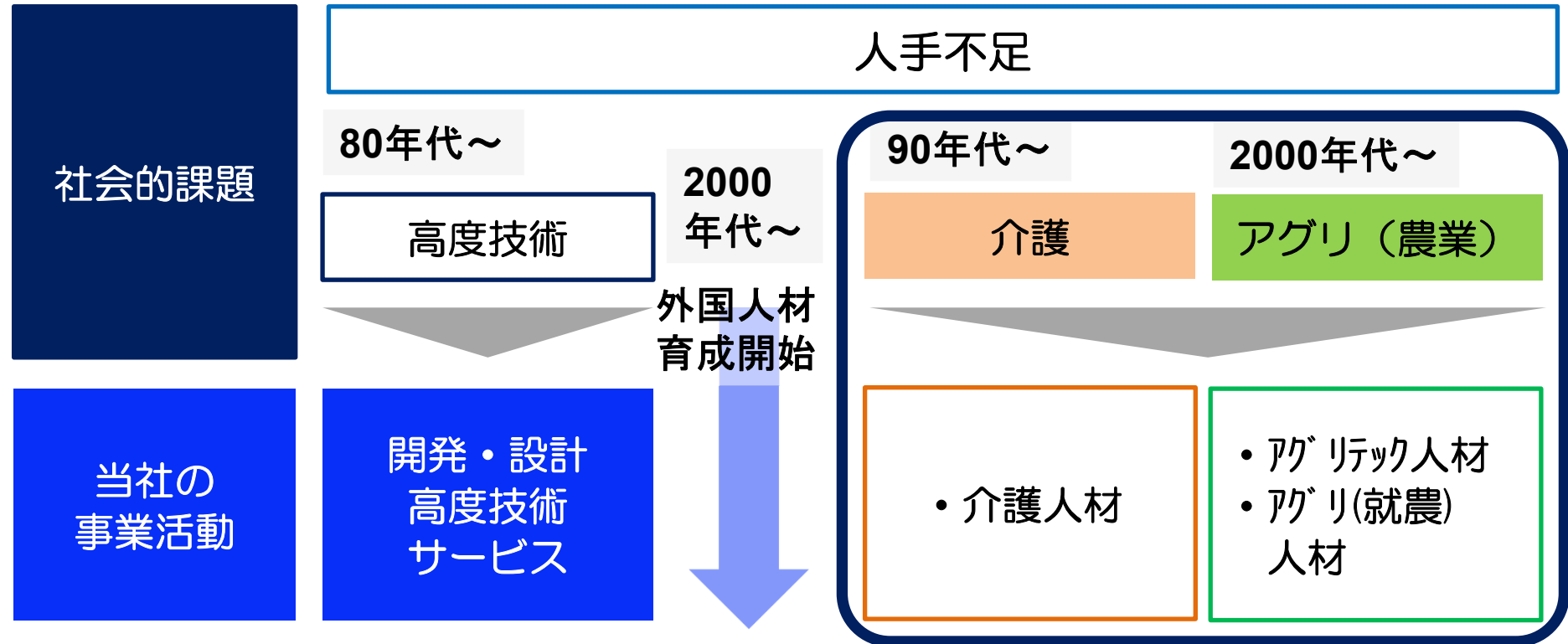
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kokoro_support.files/01support.pdf

将来リスク

- 気候変動 ● 人手不足 ● 高齢化 ● 食糧問題 ● 感染症
- エネルギー・資源問題 ● プラスチック資源循環など

■ ESG:事業活動を通じた社会的課題の解決

■ 時代に先駆けた外国人材活躍推進



事業活動推進 ⇒ 社会的課題の解決 ⇒ 企業価値のさらなる向上

アルプス技研は、 引き続き積極的に 株主還元の充実を 図ってまいります。



【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的风险や不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

＜当社公式キャラクター＞

人が未来—Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研



アルスくん

※「アルス」
… ラテン語で
「技術・才能」